



いちごの輸出

2021年(令和3年)のいちごの輸出は、

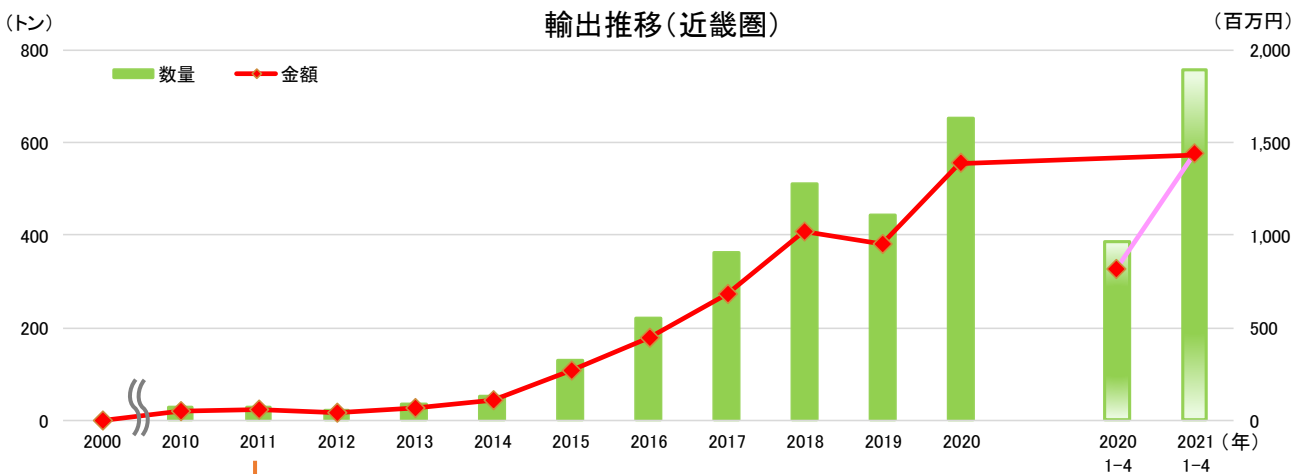
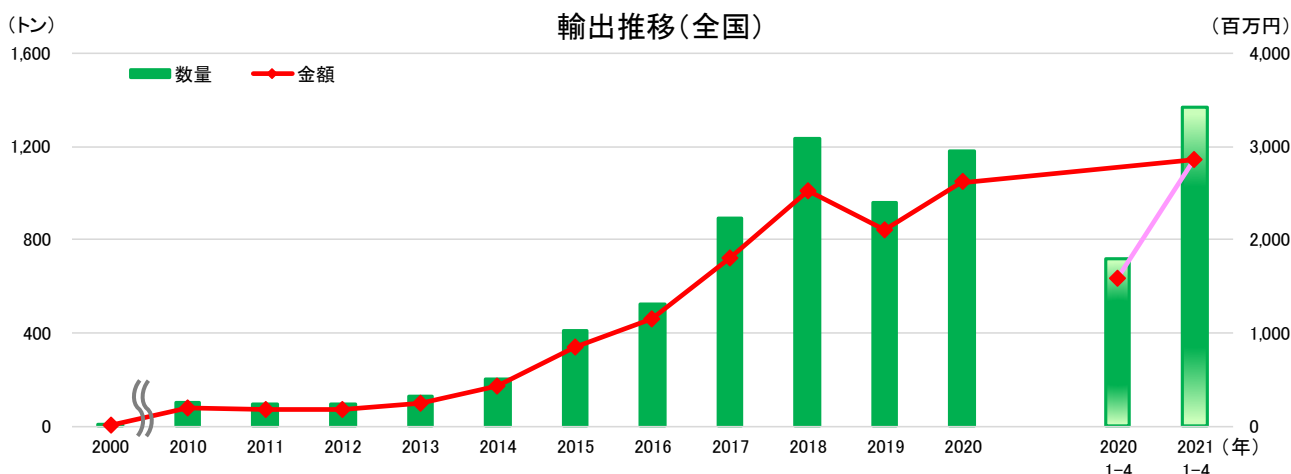
全国及び近畿圏ともに、早くも過去最高を更新！

2021年1-4月のいちごの全国の輸出額は28億65百万円で前年同期(1-4月)比80.1%増となり、2年連続で過去最高を更新、輸出数量は1,370トンで同比90.2%増となり、3年ぶりに過去最高を更新しました。

また、近畿圏の輸出額は14億42百万円で前年同期比76.7%増となり、2年連続で過去最高を更新、輸出数量は756トンで同比95.2%増となり、2年連続で過去最高を更新しました。

海外でも大人気の日本のいちご♡！

今回はコロナ禍をものともせず輸出が増加している「いちごの輸出」について特集しました。

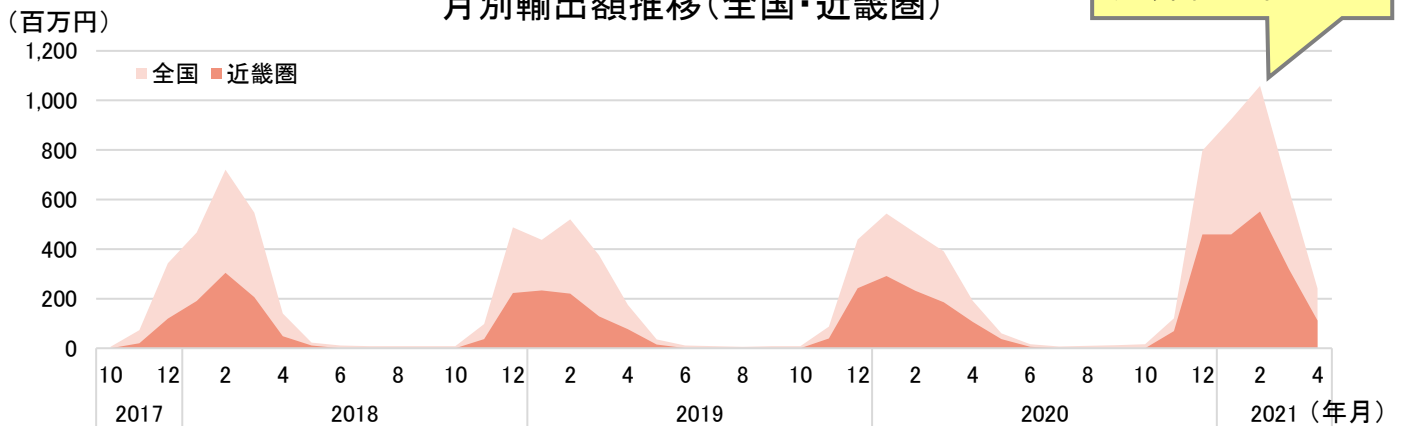


10年前(2011年)と比較して、全国の数量は14.4倍！金額は16.2倍！
近畿圏の数量は28.1倍！金額は26.0倍に！！

月別の輸出動向

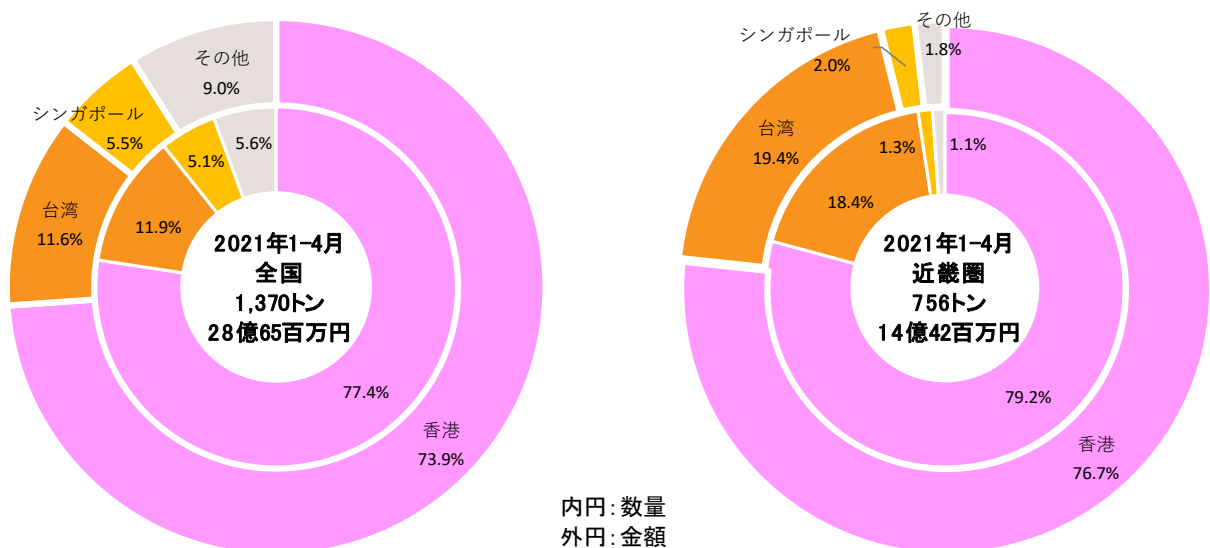
2021年2月
月別過去最高額
全国:1,059百万円
近畿圏:552百万円

月別輸出額推移(全国・近畿圏)



いちごの輸出動向を月別に見ますと、全国、近畿圏ともに11月頃から輸出が増え始めて2月頃にピークを迎え、4、5月を最後に秋まで輸出がほとんどなくなるというサイクルを例年たどっています。これは、いちごの旬は春であるところ、現在ではほとんどのいちご農家が温度管理をされた環境下で栽培する「ハウス栽培」を行っており、品種により差はあるものの12月から3月頃に旬を迎えることが主な理由のようです。

地域(国)別構成比



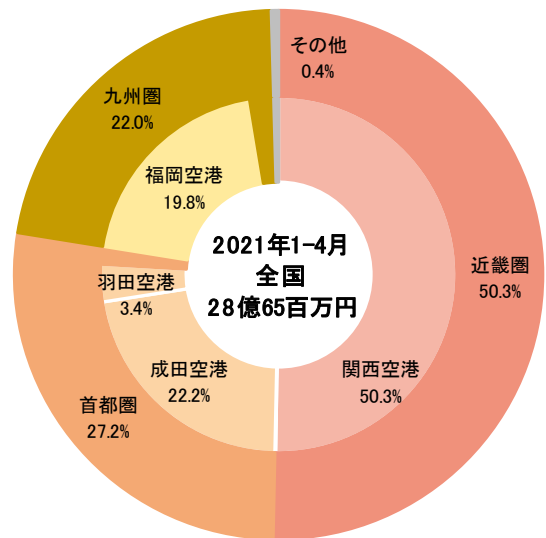
いちごの輸出動向を地域(国)別に見ますと、全国、近畿圏ともに香港が全体の7割から8割と大きなシェアを占め、続いて台湾、シンガポールの順となっています。輸出先として香港が多い理由として、業界によりますと日本のいちごは現地で人気があり、需要が高いことももちろんありますが、香港は農産物を生産する土地が乏しく、青果物は海外からの輸入に頼っているということも背景にあるようです。

経済圏別・港別の動向

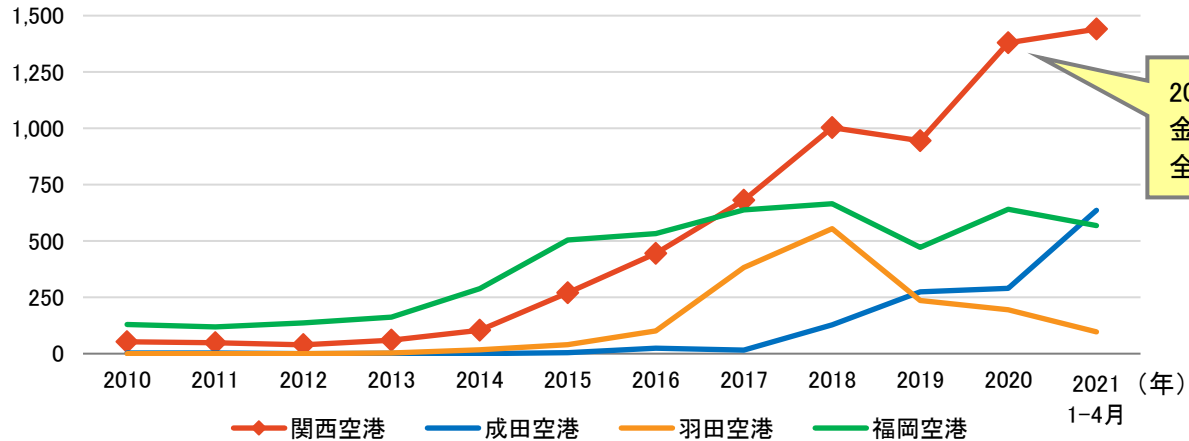
2021年1-4月の実績を見ますと、近畿圏のシェアが全国の50%超と最も大きく、次いで首都圏、九州圏の順であり、この3経済圏で全国のほぼ全数を占めています。

港別では、近畿圏のほぼ全数である関西空港(1,440百万円、前年同期(1-4月)比178.0%)が最も多く、次いで成田空港、福岡空港、羽田空港の順であり、この4官署で全国の95.7%を占めています。関西空港は2017年に福岡空港を上回り輸出額一位となった後も増加を続け、2020年、2021年と続いて全国の半数以上を占めるまでになっています。

経済圏別・港別構成比(金額)



年別輸出額の推移(主な空港別)



2020年関西空港
金額: 1,380百万円
全国比: 52.5%

まとめ

いちごの輸出が増加している理由について業界によると、

- ・ 輸出先ではいちごは珍しい果物であったところ、産地の自治体や輸出者などによる現地でのプロモーションやPR活動の結果、日本のいちごの美味しさが一般市民に浸透してきたこと。
- ・ 日本産は「安全・安心」であるという信頼感があり、品種も豊富でパッケージングも綺麗(見栄えが良い)であること。
- ・ 本年においては、コロナ禍で海外旅行ができないことによる現地での巣ごもり需要も大きいこと。

とのことです。現地での需要もあり、コロナ禍で減っている航空便数が増えれば、今後も輸出は堅調に伸びていくものと見ているとのことです。



【データ集（単位は、数量：トン、金額：百万円）】

全国 年別輸出推移

年	数量	前年比	金額	前年比
2000	2	63.1%	4	80.5%
2010	102	111.3%	185	116.4%
2011	95	93.5%	177	95.3%
2012	95	99.4%	182	102.8%
2013	127	133.8%	240	131.9%
2014	205	161.6%	436	181.9%
2015	408	199.3%	849	194.9%
2016	526	129.1%	1,149	135.3%
2017	889	169.0%	1,799	156.6%
2018	1,238	139.1%	2,531	140.7%
2019	962	77.8%	2,107	83.3%
2020	1,179	122.6%	2,630	124.8%
2020 1-4	720	98.9%	1,591	105.6%
2021 1-4	1,370	190.2%	2,865	180.1%

近畿圏 年別輸出推移

年	数量	前年比	全国比	金額	前年比	全国比
2000	—	—	—	—	—	—
2010	26	165.7%	25.7%	52	183.7%	28.3%
2011	27	103.1%	28.3%	55	105.9%	31.4%
2012	21	79.4%	22.6%	43	76.8%	23.5%
2013	35	162.8%	27.5%	68	160.4%	28.6%
2014	51	147.5%	25.1%	106	155.4%	24.4%
2015	130	252.7%	31.9%	271	255.0%	31.9%
2016	222	170.5%	42.1%	447	164.8%	38.9%
2017	363	163.8%	40.8%	684	153.0%	38.0%
2018	512	141.0%	41.3%	1,018	148.9%	40.2%
2019	444	86.8%	46.2%	956	93.9%	45.4%
2020	652	146.9%	55.3%	1,387	145.1%	52.7%
2020 1-4	387	118.5%	53.8%	816	123.9%	51.3%
2021 1-4	756	195.2%	55.2%	1,442	176.7%	50.3%

※2020年1-4月及び2021年1-4月の前年比は、前年1-4月の数量又は金額との比較である。

全国 月別輸出額推移

年	月	金額	前年比	年	月	金額	前年比	年	月	金額	前年比	年	月	金額	前年比
2017	10	6	217.0%	2018	10	9	145.2%	2019	10	8	89.6%	2020	10	16	207.2%
	11	72	222.9%		11	98	135.6%		11	87	88.2%		11	121	139.7%
	12	343	147.2%		12	488	142.0%		12	439	90.0%		12	798	182.0%
2018	1	468	130.6%	2019	1	437	93.5%	2020	1	543	124.1%	2021	1	925	170.4%
	2	721	160.0%		2	519	72.1%		2	466	89.7%		2	1,059	227.3%
	3	547	140.1%		3	375	68.6%		3	390	104.1%		3	641	164.2%
	4	141	99.4%		4	175	124.2%		4	192	109.7%		4	240	125.5%
	5	23	138.7%		5	35	152.2%		5	60	170.6%				
	6	11	232.5%		6	11	98.4%		6	16	152.8%				
	7	9	179.1%		7	8	92.3%		7	7	86.8%				
	8	9	171.0%		8	6	70.9%		8	9	149.5%				
	9	9	176.2%		9	8	86.6%		9	12	150.6%				

近畿圏 月別輸出額推移

年	月	金額	前年比	年	月	金額	前年比	年	月	金額	前年比	年	月	金額	前年比
2017	10	—	—	2018	10	—	—	2019	10	—	—	2020	10	—	—
	11	20	227.4%		11	37	182.2%		11	39	106.4%		11	69	178.0%
	12	120	146.5%		12	222	185.5%		12	242	108.8%		12	460	189.9%
2018	1	191	139.2%	2019	1	233	121.9%	2020	1	291	125.2%	2021	1	459	157.7%
	2	304	176.6%		2	221	72.6%		2	232	105.2%		2	552	237.4%
	3	206	129.7%		3	129	62.6%		3	186	144.1%		3	320	172.4%
	4	48	75.6%		4	76	158.9%		4	107	139.6%		4	111	104.0%
	5	10	86.6%		5	15	147.7%		5	37	239.4%				
	6	—	—		6	1	全増		6	6	584.9%				
	7	—	—		7	—	—		7	—	—				
	8	—	—		8	—	—		8	—	—				
	9	—	—		9	—	—		9	—	—				

全国 2021年1-4月分 地域(国)別構成比

国名	数量	数量前年比	数量構成比	金額	金額前年比	金額構成比
香港	1,060	191.8%	77.4%	2,117	179.3%	73.9%
台湾	163	285.9%	11.9%	334	274.9%	11.6%
シンガポール	70	112.5%	5.1%	158	124.7%	5.5%
その他	77	157.6%	5.6%	257	158.4%	9.0%
全世界	1,370	190.2%	100.0%	2,865	180.1%	100.0%

近畿圏 2021年1-4月分 地域(国)別構成比

国名	数量	数量前年比	数量構成比	金額	金額前年比	金額構成比
香港	599	189.3%	79.2%	1,106	167.5%	76.7%
台湾	139	244.3%	18.4%	280	232.2%	19.4%
シンガポール	10	111.8%	1.3%	29	141.2%	2.0%
その他	8	164.2%	1.1%	26	185.6%	1.8%
全世界	756	195.2%	100.0%	1,442	176.7%	100.0%

2021年1-4月分 経済圏別輸出額

経済圏	金額	前年比	構成比
近畿圏	1,442	176.7%	50.3%
首都圏	779	351.8%	27.2%
九州圏	631	117.0%	22.0%
その他	13	91.4%	0.4%
全国	2,865	180.1%	100.0%

港別 輸出額推移

年	関西空港			成田空港			福岡空港			羽田空港		
		前年比	全国比		前年比	全国比		前年比	全国比		前年比	全国比
2010	52	183.0%	28.2%	2	30.0%	1.3%	130	105.8%	70.0%	—	—	—
2011	48	91.6%	27.1%	2	97.0%	1.3%	119	91.6%	67.2%	—	—	—
2012	39	82.0%	21.6%	0	19.2%	0.2%	137	115.5%	75.5%	0	全増	0.2%
2013	60	154.1%	25.2%	2	497.6%	0.9%	163	118.7%	67.9%	4	1091.9%	1.5%
2014	104	171.7%	23.8%	0	10.1%	0.1%	288	176.9%	66.1%	17	473.5%	4.0%
2015	269	259.8%	31.7%	5	1989.9%	0.5%	504	175.1%	59.4%	40	232.2%	4.7%
2016	445	165.3%	38.8%	24	522.3%	2.1%	533	105.8%	46.4%	101	251.6%	8.8%
2017	681	152.9%	37.9%	16	65.9%	0.9%	639	119.8%	35.5%	382	378.3%	21.2%
2018	1,003	147.4%	39.7%	129	826.1%	5.1%	665	104.2%	26.3%	555	145.3%	21.9%
2019	945	94.2%	44.9%	274	213.6%	13.0%	472	70.9%	22.4%	235	42.4%	11.2%
2020	1,380	146.0%	52.5%	290	105.8%	11.0%	641	135.7%	24.4%	194	82.5%	7.4%
2021 1-4	1,440	178.0%	50.3%	636	634.3%	22.2%	569	120.0%	19.8%	97	93.4%	3.4%

※2021年1-4月の前年比は、前年1-4月の数量又は金額との比較である。

○本特集における「いちご」は、輸出統計品目表のHS0810.10-000(生鮮のストロベリー)に分類されるものを集計したものです。

○過去最高は1988年1月以降のデータを比較したものです。

○2021年(令和3年)1-4月分は確報値、2020年(令和2年)は確々報値、それ以前は確定値となります。

○本特集における各経済圏は以下の都府県を含むものになります。

近畿圏：大阪、京都、兵庫、滋賀、奈良、和歌山の2府4県

首都圏：東京、千葉、神奈川、茨城、栃木、群馬、埼玉、山梨の1都7県

九州圏：福岡、山口、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄の9県

○港別の貿易額は、その港を管轄する税関官署の貿易額を集計したのになります。

○表示単位未満は四捨五入、「0」は単位に満たないもの、「—」は実績なしのものを指します。

※本資料を他に転載するときは大阪税関の資料に基づく旨を注記してください。

※本資料に関するお問い合わせは大阪税関調査部調査統計課までお願いします(電話 06-6966-5385)